

歴史

中京大学は、1956年（昭和31年）に開学しました。中京大学を運営する梅村学園は、1923年（大正12年）に中京商業学校（現在の中京大学附属中京高校）を開校しており、その教育実践の土台の上に4年制大学を設立しました。

中京大学は、開学時に商学部商学科、1959年に体育学部体育学科を設置した後、時代を先取りした学部学科の増設、改革を次々と進めてきました。現在では、文、国際英語、国際教養、心理、法、総合政策、経済、経営、現代社会、情報理工、スポーツ科の11学部、大学院は11研究科を擁しています。

名古屋、豊田の両キャンパスで1万3500人余の学生が学んでおり、日本国内の私立大学では有数の規模に発展しています。卒業生は2008年に10万人を超え、産業界をはじめ、教員・公務員など各分野で活躍しています。

理念

建学の精神は、「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。学問・知識のあくなき探究心と、健全な心身のバランスの大切さを説いています。具体的には、スポーツになぞらえて、「ルールを守る」「ベストを尽くす」「チームワークをつくる」「相手に敬意を持つ」の四大綱を示しています。建学の精神は同窓生や在学生に脈々と受け継がれています。

歓迎

国際交流

海外から受け入れる留学生には、学生生活の支援、日本人学生との交流などで充実したサポートをしています。一方で、本学から海外に留学する学生は、年間500人を超えていました。

学生生活

文化系のクラブは、書道、茶道、演劇、美術など約30団体、体育系は約40あり、多彩な活動をしています。10月末には恒例の大学祭が開催され、学生们たちが企画するイベントやコンテストが行われます。

研究所

社会科学、文化科学など7研究所があり、研究成果の発表、講演会の開催などで社会に貢献しています。また、図書館は、名古屋に3施設、豊田に1施設あり、一般にも開放しています。

生涯教育

地域の人たちに学びの場を提供する「オープン・カレッジ」を1995年から続けています。また、著名な講師を招いた一般向けの公開講座を毎年5回前後開催し、生涯教育に貢献しています。



中京大学

日本

キャンパス

-

名古屋キャンパス

名古屋市の東部丘陵地・八事にあり、8学部8研究科を設置しています。地下鉄2路線の八事駅出口と直結しており、都心からの交通が便利です。施設は、9階建てのセンタービルをはじめ、20棟が立ち並び、中央にある巨大な吹き抜け空間「ガレリア」は、学生たちの憩いの場になっています。

-

豊田キャンパス

愛知県豊田市の丘陵地にあり、3学部3研究科を設けています。広大な敷地には、陸上競技場、野球場、サッカー場、プールなどの各種スポーツ施設が整っています。フィギュアスケート専用の「アイスアリーナ」は、国のナショナルトレーニングセンターに指定されています。これらの施設からは、フィギュアスケートの安藤美姫選手、小塚崇彦選手、浅田真央選手、水泳の富田尚弥選手ら世界的なアスリートが数多く育っています。

